

みやまコンセル

(霧島国際音楽ホール)

〒899-6603 鹿児島県霧島市牧園町高千穂3311-29 Tel.0995-78-8000 Fax.0995-78-3311
<https://miyama-conseru.or.jp/> E-mail:info@miyama-conseru.or.jp

●主ホール(座席数:770席)／野外音楽堂／リハーサル室／小ホール／練習室(8室) ●休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)
 ※主催者の都合により、開演・終演時刻、入場方法等が変更になることがあります。お問い合わせは、それぞれの主催者へお願いします。
 ※有料公演で特に記載のない場合、未就学児はご入場いただけませんので、あらかじめご了承ください。※ミニ・コンサートは3歳以上のお子様から入場できます。
 ※みやまコンセルでは、公演実施に向けて新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の方針や関係団体が策定したガイドラインに基づいて開催します。
 ※状況により、内容の変更または中止になる場合がございます。

情報発信! みやまコンセルで検索

チケット販売所 みやまコンセル、宝山ホール(県文化センター)、十字屋CROSS、山形屋
 ローソンチケット(ローソン各店)、チケットぴあ(セブンイレブン各店)、イープラス(ファミリーマート各店)

Web予約購入 <https://p-ticket.jp/kg-prf>
 QRコードからもアクセス出来ます。



3月の催物

公演	開演	終演	入場方法	お問い合わせ先
15 金 霧島郷土芸能の夕べ	20:30	21:30	入場無料 全席自由	霧島市観光協会 0995-78-2115
23 土 お笑い大衆演芸 いろは座	12:00	15:30	A席 3,500円 B席 3,000円	アポロ企画 0984-37-3100

4/21 日 13:30開場 14:00開演

日本クラシック音楽界の"今"がわかる

第92回 日本音楽コンクール受賞記念演奏会

～若き才能は
みやまから華開く!～

2002年2月14日生まれ、大阪府出身。2020年大阪府立夕陽丘高等学校音楽科卒業。現在、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ演奏家コース)に給費奨学生として4年在学中。2021年、第27回フッペル鳥栖ピアノコンクールフッペル部門第1位。2022年、第32回宝塚ベガ音楽コンクール・ピアノ部門第4位。2023年、第47回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ。併せて聴衆賞、文部科学大臣賞、スライムウェイ賞を受賞。これまでに、稲垣千賀子、佐藤美秋、石井理恵、仲田みずほ、石井克典の各氏に師事。



鈴木愛美
SUZUKI Manami
ピアノ

2003年10月30日生まれ、青森県出身。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科2年に宗次徳二特待奨学生第9期生として在学中。第15回アルテュール・グリユミオー国際ヴァイオリンコンクール(ベルギー)第1位及びグランプリ、第21回東京音楽コンクール弦楽部門第2位及び聴衆賞。これまでに伊東暁美、マウロ・イウラート、小栗まち絵各氏に師事。現在、玉井菜探氏、堀正文氏に師事。



水野琴音
MIZUNO Kotone
ヴァイオリン



市川敏雅
ICHIKAWA Toshimasa
声楽(バリトン)

1990年12月21日生まれ、奈良県出身。大阪芸術大学大学院博士課程前期修了。修了時に在学時の功績が認められ奨学金全額免除生として選出される。第22回神戸新聞主催松方ホール音楽賞新人奨励賞。2016年より活動範囲を国内外に広げ2018年にドレスデン国立歌劇場で行われたブラームス「ドイツレクイエム」でのバスノロは各紙から“Outstanding noble sound”(卓越した高貴な響き)など多くの讃辞が送られた。北田真弓、上西一郎、故小林正夫、三原剛の各氏に師事。現在滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール声楽アンサンブル所属。



吉田智就
YOSHIDA Tomonari
ホルン

1999年8月19日生まれ、千葉県出身。2022年東京音楽大学卒業。現在、同大学大学院器楽専攻管打楽器研究領域科目等履修生。2020年第89回日本音楽コンクールホルン部門入選。2022年第20回東京音楽コンクール金管部門第1位。2023年第38回日本管打楽器コンクールホルン部門第1位、文部科学大臣賞、東京都知事賞。第92回日本音楽コンクール第1位及び岩谷賞、瀬木賞、INPEX賞受賞ソリストとして、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、千葉交響楽団と共演。これまでにホルンを吉永雅人、福川伸陽の各氏に師事。

予定演目 ●ピアノ／モーツァルト：幻想曲 ハ短調 K.475 …ほか ●ヴァイオリン／プロコフィエフ：ヴァイオリンソナタ 2番 二長調 作品94 bis
 ●声楽／G.ロッシーニ：歌劇セヴィリアの理髪師より「私は町の何でも屋」
 R.シュトラウス：歌劇ナクソス島のアリアドネより「愛に、憎しみに、希望に、ためらいに」
 M.トルーパー：サルスエラ マラヴィツァ「愛、私の愛する人の人生」

※各出演者のプロフィール2024年1月現在

チケット発売	かごしまミュージッククラブ会員	一般発売
電話予約	2/21(水)10:00～2/27(火)17:00	2/28(水)13:00～
Web先行発売	2/21(水)13:00～	2/22(木)10:00～
窓口・プレイガイド	2/28(水)10:00～	

入場料金 [全席指定]一般 2,500円 学生 1,000円
 ※小学生から入場可

みやま特急チェロまる号受付期間 4/2(火)～4/19(金)

泊
霧島に泊まってお得
チケット特典(要申込)

公演の前日または当日に、霧島温泉旅館協会加盟のホテル・旅館に宿泊される方は、チケットを定価の半額で購入できます。

まとめてお得
団体(まとめて)チケット
購入特典(要予約)

10枚まとめて購入すると、もう1枚プレゼント!(以降、10枚毎に1枚プレゼント)●みやまコンセルでのみ申込受付をします。

託児サービス
(有料・要予約・定員9名)

2歳から就学前のお子様を公演中お預かりいたします。料金は1人500円で、各公演2週間前までの受付です。

各種サービスについて、詳しくはホームページをご覧ください。みやまコンセルへお電話ください。

ミニ・コンサートって?

気軽に、世界に誇る音の響きを体感できる「ミニ・コンサート」について、チェロまろが解説します。

Q1. ミニ・コンサートってどんなもの?

A. 音響学の高い技術を取り入れてつくれる「奇跡のホール」と称されるみやまコンセル。ミニ・コンサートとは、豊かな響きを気軽に体感できるコンサートで、県内外で活躍中の「みやまコンセル協力演奏家」が演奏するちえろ。

Q2. クラシックって難しそう…

A. 3部構成で、ピアノ・声楽・その他の楽器(管・弦・打楽器)の音色を楽しむちえろ。みやまコンセルや音楽にまつわるお話を交えてお届けするちえろ。

Q3. どんな人たちが申し込める?

A. 幼稚園から大学までの学校団体や、生涯学習や社員旅行などの一般団体ちえろ。
 ★学校団体は20名から。★一般団体は30名から。※3歳から入場可

Q4. 入場料金はいくら?

A. 一般 500円、高校生以下(3歳以上)300円ちえろ。

Q5. いつ開催されているの?

A. 火曜日から金曜日の平日で、開演時間は、午前の場合10:30から、午後は14:00からの約1時間程度ちえろ。

Q6. 団体じゃないと聴けないの?

A. 開催が決定している公演は、個人のお客様も鑑賞できるちえろ。
 ※入場料金は(Q4.と同じ)ご入場の際にお支払い。
 ※一部入場できない場合があります。事前にホームページを確認、又は電話でお問い合わせください。

お知らせ

チケットWEBサービス、リニューアルのお知らせ

令和6年度の自主公演のチケット発売に合わせ、鹿児島県文化振興財団のチケットWEBサービスが新しくなります。

現在ご利用中のサービスは、令和5年度開催の自主公演をもって運用を終了します。引き続き、WEBサービスをご利用いただくには、改めて利用登録が必要になります。

新しいWEBサービスにつきましては、現在準備中です。準備が整いましたら、みやまコンセル・宝山ホール、それぞれのホームページ上でお知らせします。

かごしまミュージッククラブ会員のお客様はリニューアルにともない、2月中旬に新しい会員証を発送しますのでご確認ください。

霧島アートの森

KIRISHIMA OPEN-AIR MUSEUM

〒899-6201 鹿児島県姶良郡湧水町木場6340-220
 Tel.0995-74-5945 Fax.0995-74-2545
<https://www.open-air-museum.org>
 E-mail:info@open-air-museum.org

●休園日:月曜日(祝日の場合は翌平日)
 ●入園料:一般320(260)円/高大生220(170)円/小学生160(130)円/幼児無料
 ※()内は20人以上の団体料金 ※70歳以上の鹿児島県民は無料
 ※鹿児島県内の小中高生は土・日・祝日無料

情報発信! 霧島アートの森で検索

2/21水～5/19日 春のコレクション展

会場 鹿児島県霧島アートの森 アートホール
 観覧料 入園料に含む

奥 傳三郎《ボーンズ》1996年

生物の死を意味する骨を題材にしており、光を受けて変化するガラスには作家自身の生命の鼓動が表されています。生死をさまよう闘病生活の体験を通じた作家本人の生への強烈なエネルギーを感じさせてくれます。重量感あふれる荒々しい鉄の頭も含めて、全体を視野に入れて見てみましょう。

宮島達男《Changing Time with Changing Self No.25-W》2002年

9から1に明滅しながら減少していく数字が、鏡に映る人と与えられた時間の移ろいを表しています。時間の感覚が人それぞれ異なるようにおのの数字が異なるスピードで発生、減少、消滅を永遠に繰り返すさまは、1人1人の人間の存在と周囲とのかわりをも表しています。

正確な格子線上に配置された発光ダイオードの数字、それらを硬く、鋭く囲む正方形の鏡。それに映し出される鑑賞者自身の姿、これらがもたらす造形的な効果にも作家の優れた感性を感じ取ることができます。

トナルド・ジャッド《無題》1989年

ものの形や色の中で余分なところを省いていき最後に残ったものが美の本質であるという考えに基づいてつくられています。単純明快な直線と赤と黄という二つの原色で構成されたこの作品には、作者の徹底した芸術観と鋭い感性が感じ取れます。白い壁に取り付けられたこの作品の美しさを探してみてください。

お知らせ

休園のお知らせ

2/13(火)～2/19(月)は施設メンテナンスのため休園いたします。